



- このたびは、当社製品をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施工者ご自身や他の人々への危害や損害を未然に防止することを目的としています。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味



警告

- 取扱を誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



注意

- 取扱を誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

<施工の前に>



警告

- 本製品は隣地や道路との境界に設置するものです。転倒防止を目的とした防護柵・歩行補助を目的とした手すり等として使用しないでください。
- 本製品の施工にて、フェンス板材の現場カットが必要な場合には別売『小口用塗料セット』が必要です。使用しない場合、フェンス板材の腐食・割れが生じる場合があります。



注意

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

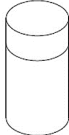
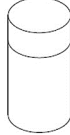

<施工上のご注意>



注意

- 施工前にフェンス板材を太陽光に当てないでください。反りの恐れがあります。
- 施工前にフェンス板材を水に濡れた状態で放置しないでください。板材と板材が引っ付くことがあります。
- 施工前にフェンス板材とフェンス板材が直接接触れる状態で放置しないでください。板材と板材が引っ付くことがあります。板材を重ねる際には、梱包に使用している間紙を使用してください。
- 強い衝撃を与えないでください。変形やキズの原因となります。
- フェンス板材塗料面は有機溶剤や石油類に侵されやすいので、付着しないようにしてください。
- 火気があると燃える可能性があります。火気は近付けしないでください。
- フェンスが降雨時等で濡れた場合、まれに白いシミのようなものが発生する場合があります。これは塗膜内に界面活性剤が残っている場合に起こりますが、自然乾燥させることにより白いシミは減少していきます。この部分は柔らかくなっておりますので、タオル等でふかないでください。触らずに乾燥させることにより、白いシミは消滅しますので、そのままの状態に放置してください。
- 柱のピッチは柱芯々1000mm以下で施工してください。それ以上離れると耐風圧強度が、大幅に低下します。
- 本製品の取付については、フェンス板材に同梱されている取付説明書をご確認ください。
- 柱は施工現場の状況(風圧など)を考慮し、指定以上の角数・肉厚で十分強度を確保した柱をお使いください。
- 天然木のため、1枚1枚の個々の質感の差や色差・色ムラ・木目の差・多少の節があります。
- 資源有効活用の観点から、節の破損部はパテ埋めにて補修を行っております。

■梱包明細表

名称	略 図			数量
小口塗料 (50g)セット 塗布目安 約0.3~0.4㎡	プライマー (下塗り) 50g 	ベースコート (中塗り) 50g 	トップコート (上塗り) 50g 	各1本 (合計3本) 刷毛3本付

1 切断面の小口処理について



注意

※現場での板材カットを行った場合、必ずカット面に小口塗料を塗布してください。

- 板材を現場にてカットした場合は、必ずカットした板の小口面に小口用塗料を塗布してください。
- 塗料は水性塗料になります。15℃以下の環境下での使用はなるべく避けてください。
- 3種類の塗料があります。塗布順番を必ず守って塗布してください。(下記、塗布工程を参照ください。)
- 塗布面の切り粉やゴミを取り除いてから、塗料を塗布してください。

- ① カットした板材の小口面にプライマー(下塗り)を塗布します。
- ② 下塗り塗料が乾燥するのを待ちます。

- ③ 下塗り塗料が乾燥したのを確認できたら次に、ベースコート(中塗り)を塗布いたします。
- ④ 中塗り塗料が乾燥するのを待ちます。

- ⑤ 中塗り塗料が乾燥したのを確認できたら次に、トップコート(上塗り)を塗布いたします。
- ⑥ 上塗り塗料が乾燥するのを待ちます。



注意

- 塗布前に、塗料をよく攪拌してご使用ください。
- 各塗料ごとに、使用する刷毛を分けてください。
- 季節により、乾燥する時間が異なります。
必ず乾燥してから塗布してください。
(手で触れてつかない程度まで乾燥、約3~6時間空けてください。)
- 塗料の保管は、5℃~35℃の環境下で保管してください。
- 塗料の開封後はきちんと封をし、ホコリやゴミなど入らないようにしてください。
- 塗料が凍らないように、温度管理をした場所で保管してください。
難しい場合は地面への直置きは避けてください。
また壁際も温度が下がりやすいのでご注意ください。
- 開封後はなるべく早く使用してください。
- 残った塗料の処理は各地域により異なるため、自治体の指示に従い処分してください。
- 塗布後は刷毛等を水で洗い流してください。

塗布工程

